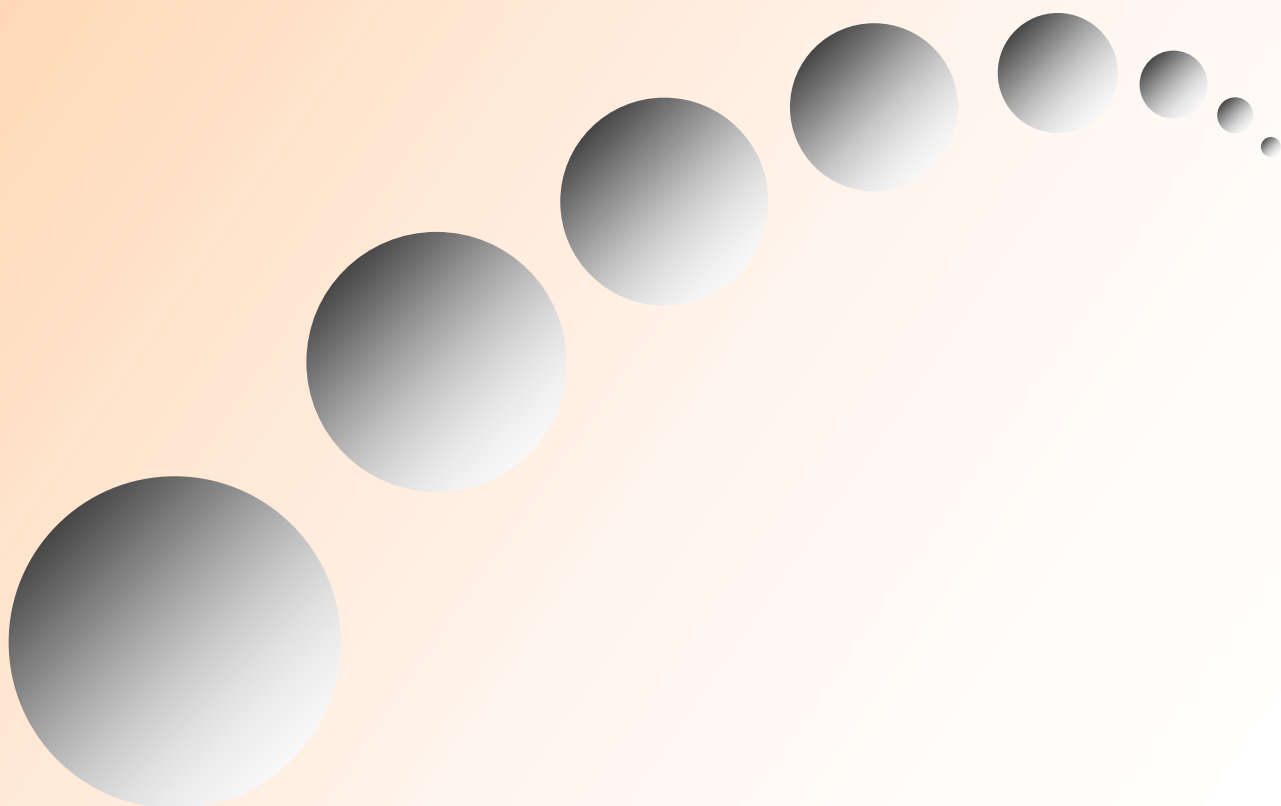


第2章

計画の体系



計画の体系

人が年齢・性別にかかわらず、互いに助け合いながら、個性と能力が十分に発揮でき心豊かに暮らせる鳥取県

テーマ

重点目標

A

男女共同参画の視点に立って社会の制度や慣行などを見直してみよう

自治体、企業、団体などで物事を決めるときに男女がともに参画しよう

男だから、女だからと決めつけしないで、男女がともに自分らしく生きるため、考え方を変えてみよう
・教育と学習の機会を充実しよう
・広報・啓発活動を充実する

様々な分野で男女共同参画を進めよう

自治会など地域社会での男女共同参画を進めよう

国際社会の一員として行動しよう

B

職場、家庭及び地域においてだれもが多様な生き方を選べる社会にしよう

男女がともに能力を発揮できる職場環境をつくろう

仕事と家庭を両方大切にしよう

農林水産業、商工業などの自営業でも男女共同参画を進めよう

男女共同参画の視点に立って高齢者や障害者が安心して暮らせる社会にしよう

C

女性の人権が擁護され、だれもがともに自分の意思で生きる権利を守ろう

女性に対するあらゆる暴力をなくそう

女性の健康を支援していこう

取り組むべき課題

- ①議会への女性の参画を進める。
- ②審議会などへの女性の参画を進める。
- ③自治体の管理職への女性の登用を進める。
- ④企業、団体、教育・研究機関、地域団体などにおいて物事を決める場面への女性の参画を進める。
- ⑤積極的改善措置（ポジティブ・アクション）の考え方を広げる。

教育と学習の機会を充実しよう

- ①学校教育での男女共同参画の視点に立った学習を充実する。
- ②様々な選択肢の中から選ぶことができる教育・学習機会を充実する。
- ③家庭教育・社会教育において男女共同参画の視点に立った学習を進める。
- ④男性を対象とした男女共同参画の学習機会を提供し、男性の自立を進める。

広報・啓発活動を充実する

- ①男女共同参画社会の実現に向け、県民の理解を得るための広報活動を充実する。
- ②メディアにおける男女の人権尊重を働きかける。
- ③情報を自分の判断で適切に見分けられる能力を育てる。

- ①防災・復興分野で男女共同参画を進める。
- ②地域おこし、まちづくり、観光、環境、科学技術分野などで男女共同参画を進める。

- ①家庭や地域社会で男女共同参画の視点で考え方を変えてみる。
- ②青少年の育成や地域活動、ボランティア活動の分野での男女共同参画を進める。

- ①国際社会の一員として男女共同参画の取組への理解を深める。
- ②男女共同参画推進に関する環日本海諸国などとの交流を進める。
- ③外国人居住者が暮らしやすい環境を整備する。

- ①女性の能力開発を進めるための支援を行う。
- ②雇用の場における男女に平等な機会（チャンス）があり、かつ母性が尊重されるような企業を育成する。
- ③雇用の場における積極的改善措置（ポジティブ・アクション）を進める。
- ④経営者も発想を変え、職場における男女共同参画を実現する。
- ⑤職場（学校、官公庁を含む）におけるセクシャル・ハラスメント対策を進める。

- ①仕事と家庭の両立が成り立つよう、職場ぐるみで応援する取組を進める。
- ②子育てを支援する対策を充実する。
- ③ひとり親家庭の自立を支援する。
- ④労働者が様々な働き方（時間、方法など）を選べるようにする。

- ①男女共同参画の視点に立って考え方を変える。
- ②物事を決める場面への女性の参画を進める。
- ③女性の働きや立場を正しく評価する。
- ④起業家を目指す女性を支援する。

- ①高齢者が安心して暮らせる条件を整備する（雇用、社会参加、介護体制など）。
- ②障害者の自立を支援する。

- ①女性に対する暴力を許さない社会づくりを進める。
- ②配偶者などからの暴力（ドメスティック・バイオレンス）、性犯罪、ストーカー行為等への対策を進める。
- ③被害者及び加害者に対する相談及びカウンセリング体制を整備する。
- ④被害者を支援する体制及び関係機関の連携を強化する（二次被害の防止）。

- ①リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖の健康・権利）に関する正しい知識を普及する。
- ②妊娠・出産など生涯を通じた女性の健康対策を進める。
- ③性感染症、エイズなどの対策を進める。